

慣用句の意味を知ろう【解答】

基礎

慣用句は「まとまり」で意味を考える

① 言葉が結びつく

顔 + 広い



② ひとまとまりで読む

顔が広い



③ 慣用句としての意味

知り合いが多い

「顔そのものが大きい・広い」という意味ではありません。

× 文字どおりだけで考える

「顔」 + 「広い」だから、顔の大きさのこと？

○ まとまり全体で考える

「顔が広い」という一まとまりで「知り合いが多い」という意味になる。

体の部位を使った慣用句の例

目

目を丸くする
とても驚く

耳

耳を傾ける
よく聞く

口

口が堅い
秘密を話さない

手

手を焼く
扱いに困る

胸

胸をなで下ろす
安心する

腹

腹を割る
本心を打ち明ける

解くコツ：①言葉をまとまりで読む → ②前後の文や場面を見る → ③体の部位そのものの意味と区別する

慣用句とは 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問1 「顔が広い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア 顔が大きいこと

イ 知り合いが多いこと

ウ 表情が豊かなこと

答え イ

補足：「顔が広い」は、知り合いが多く、交際範囲が広いことを表す。

文字どおりの意味との違い 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問2 「耳が痛い」の慣用句としての意味はどれですか。

ア 耳に痛みがあること

イ 大きな音を聞くこと

ウ 自分の弱点を指摘されて聞くのがつらいこと

答え ウ

補足：体の耳が痛むという意味ではなく、自分にも思い当たる注意や批判を聞くのがつらいことを表す。

体の部位を使った慣用句 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問3 「口が堅い」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア 秘密をむやみに話さない

イ 大きな声で話さない

ウ 難しい言葉を使う

答え ア

補足：「口が堅い」は、秘密などを簡単に他人へ話さないことを表す。

確認問題 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問4 「手を焼く」の意味として最も適切なものはどれですか。

ア 手を温める

イ 扱いに困る

ウ 仕事を急ぐ

答え イ

補足：「手を焼く」は、扱いに困ったり、世話に苦労したりすることを表す。